

# 令和4年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援B型 事業計画書

## 1 はじめに

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、余暇活動や他の事業所との作業交流などの活動を制限せざるを得ない状況となった。いまだ終息の目途が立っていない状況であるため、令和4年度においても引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、利用者及び職員の体調管理に留意したうえで利用者が安心して通所が行えるように取り組んでいきたい。

また、令和3年度は、数年前からの課題であるPDCAサイクルの実施に力を入れて取り組み、日常の支援やその情報の共有及び記録等については、徐々に丁寧に行えるようになってきた。しかし、一方で利用者の生活環境の視点が個別支援計画や支援に不足していることが多かった。令和4年度はこの改善を含め、個別支援計画の質の向上を目指し、PDCAサイクルの実施による更なる利用者支援の充実を図りたい。

## 2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型事業
- 3) 所在地 小平市大沼町2-1-5
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50名
- 6) 利用現員 74名（令和4年4月1日時点）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年 4月 1日
- 9) 職員  
管理者 1名  
サービス管理責任者 2名（常勤換算1.5）  
職業指導員 7名（常勤換算6.3）  
生活支援員 9名（1名サービス管理責任者と兼任、常勤換算7.4）  
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

### 職員グループ別内訳

#### ・あかしあグループ

- 職業指導員 3名（常勤換算2.3）
- 生活支援員 4名（常勤換算3.1）

#### ・みどりグループ

- 職業指導員 4名（常勤換算4.0）
- 生活指導員 5名（常勤換算4.3）
- 目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現。  
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。  
安心と希望のもてる生活。
- 4 基本方針 生き生きと働ける職場  
日中活動の保障  
豊かな生活の支援  
個別支援計画に基づいた計画的な支援  
安心できる将来への支援
- 5 実施事業

## 【あかしあグループ】

### 1) 就労支援事業

- (1) 傘の値付け
- (2) ダイレクトメール丁合、封入、封緘、シール貼り
- (3) 古着の値付け
- (4) 箱の組み立て
- (5) 小平市報の折込
- (6) 公園清掃
- (7) 神社清掃
- (8) 事務封筒製作
- (9) 緑化推進事業

### 2) 生活支援事業

- (1) 夕方生活支援事業（週3日実施）※新型コロナウイルスの感染拡大中は中止。

### 3) 行事

#### (1) 年間計画

4月	レクリエーション
5月	小平市障がい者運動会（未定）
8月	レクリエーション
10月	秋の一泊旅行（未定）
12月	忘年会
1月	初詣

#### (2) その他

喫茶（月2回）

### 4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
準備	9:50～9:55
作業	9:55～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

## 【みどりグループ】

### 1) 就労支援事業

- (1) ポスティング作業
- (2) 古着の値付け
- (3) 箱の組み立て
- (4) 作業マンション清掃
- (5) 事務封筒製作
- (6) 緑化推進事業
- (7) 空き缶つぶし
- (8) ダイレクトメール丁合、封入、封緘、シール貼り

- (9) 公園清掃
- (10) 資源回収

## 2) 生活支援事業

- (1) 生活支援プログラム（週3日実施）  
※新型コロナウイルスの感染拡大中にプールは中止。
- (2) 夕方生活支援事業（週3日実施）  
※新型コロナウイルスの感染拡大中は中止。

## 3) 行事

### (1) 年間行事

- 4月 永年勤続表彰式
- 5月 小平市障がい者運動会（未定）
- 6月 レクリエーション
- 7月 レクリエーション
- 8月 レクリエーション
- 9月 レクリエーション
- 10月 秋の一泊旅行（未定）
- 11月 レクリエーション
- 12月 忘年会
- 1月 レクリエーション
- 2月 レクリエーション
- 3月 レクリエーション

### (2) その他

- 音楽教室（月2回）  
※新型コロナウイルスの感染拡大中は中止。

## 4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:00
朝礼	9:00～9:20
準備	9:20～9:40
作業	9:40～10:40
休憩	10:40～10:50
作業	10:50～11:50
休憩	11:50～13:00
昼礼	13:00～13:10
作業	13:10～14:10
休憩	14:10～14:20
作業	14:20～15:10
作業片付け	15:10～15:15
終礼・お茶	15:15～15:25
送迎・清掃	15:25～16:30
作業点検・記録等	16:30～16:45
職員打ち合わせ	16:45～17:30

## 6 重点課題・目標

### 1) 活動

- (1) 一人ひとりの利用者のニーズに沿った支援の実施  
（支援のサイクル）

- ① 利用者の状況に合った丁寧な個別支援計画の作成及び共有
- ② 個別支援計画に基づく支援の実施
- ③ 支援経過等の共有、検証及び評価（会議やケース記録等を活用する）
- ④ 必要に応じた計画の見直し

(必要なニーズまた想定されるニーズ)

- ① 健康に関する問題
- ② 精神的な安定に関する問題
- ③ 作業に関する問題
- ④ 身体的な機能に関する問題
- ⑤ 生活状況の共有及び将来の生活に関する問題 等

(2) 作業活動の充実

- ① 安定した作業提供
- ② 新規作業の開拓
- ③ 作業収入の維持、向上  
目標額 8,700,000円  
(令和3年度見込額 7,700,000円 )
- ④ 利用者の作業能力の維持、向上

(3) 感染症対策の徹底

- ① 一人ひとりの衛生保持、健康管理に関する情報共有

2) 人材育成

(1) グループリーダーのスキルアップ

- ① PDCAサイクルの知識・技術の向上
- ② 他の職員への指導力向上

(2) 職員のチームワークの強化

(3) 支援スキルの向上

3) 経営管理

(1) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行するとともに、試算結果から赤字収支や事業経営が困難になると判断した場合は迅速に対応する。

(2) 経費削減を徹底する。

- ① 未使用スペースの消灯等節電の徹底。
- ② 整理整頓により、備品、消耗品等の在庫管理を徹底する。
- ③ 印刷物については必要枚数の確認や、枚数の多いものについては試し刷りを行うなど無駄な印刷を行わないようにする。

7 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

8 健康管理

1) 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底する。

2) 定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

9 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員及び生活支援員

救助担当 職業指導員及び生活支援員

10 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。